

# 令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立ふくやま産業交流館		
所在地	福山市御幸町上岩成正戸476-5		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	大展示室（4室）、小展示室（2室）、研修室（1室）、会議室等（6室）、駐車場（876台）等		
指定管理者	5期目	R 3.4.1～R 8.3.31	株式会社イズミテクノ
	4期目	H28.4.1～R 3.3.31	株式会社オオケン
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	株式会社オオケン
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	福山商工会議所
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	福山商工会議所

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5期	R4	22.5%	28.5%	△1.1ポイント
R3		22.5%	29.6%	6.1ポイント	7.1ポイント (131.6%)
	4期平均 H28～R2	29.3%	23.5%	△4.8ポイント	△5.8ポイント (80.2%)
	3期平均 H23～H27	35.0%	28.3%	△1.1ポイント	△6.7ポイント (80.9%)
	2期平均 H20～H22	39.0%	29.4%	△7.3ポイント	△9.6ポイント (75.4%)
	1期平均 H17～H19	—	36.7%	△3.8ポイント	—
	(導入前)	—	40.5%	—	—
増減理由	新型コロナウイルスワクチン接種会場として利用されたこと及びコロナ禍以前に行われていた催事が一部再開されたことから、当初の目標数値を上回った。				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	○アンケートの実施	○施設利用者（主催者）17団体
	○意見箱の設置	○58件回収
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	掃除機が重くて使いにくい	貸出用の掃除機を購入
	会議室の机の更新を希望	会議室用の机を6脚購入し、交換した。
駐車区分が分かりにくい	ホールごとに行っている路面標示の塗り直しを行い、駐車区分をわかりやすくした。	

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書、収受計算書、面積稼働率
	日報（必要随時）	○ 必要時に電話もしくはメールで確認
管理運営会議（計12回・現地）	<b>【特記事項等】</b> 毎月1回以上各部門の代表者で集まり運営状況や課題の共有 <b>【指定管理者の意見】</b> 利用者の利便性の向上や快適な環境を保持するため、施設・設備機器の更新や修繕等について県と連携を取りながら対応する。 <b>【県の対応】</b> 指定管理者からの報告を受け、現地調査を行い、施設等の安全性を確認した。	
現地調査（随時）		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減		年度	金額		対前年度増減	
	5期	R4	7,551	7,551		5期	R4	126,118	3,630
	R3	—	△14,553		R3	122,488	23,110		
4期平均 H28～R2		14,553	14,553	4期平均 H28～R2		99,378	△16,910		
3期平均 H23～H27		—	△5,416	3期平均 H23～H27		116,288	8,969		
2期平均 H20～H22		5,416	5,416	2期平均 H20～H22		107,319	△34,894		
1期平均 H17～H19		—	—	1期平均 H17～H19		142,213	1,478		
H16 (導入前)		—	—	H16 (導入前)		140,735	—		

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R4 決算額	R3 決算額	前年度差	主な増減理由等
委託事業	収入				
	県委託料	7,551	—	7,551	光熱費高騰に伴う委託料の増
	料金収入	126,118	122,488	3,630	利用料金制(※1) ワクチン大規模接種会場の利用による増
	その他収入	1,697	756	941	自販機売上等の増
	計(A)	135,366	123,244	12,122	
	支出				
	人件費	24,559	23,549	1,010	職員の昇給による給与費の増
	光熱水費	26,530	23,985	2,545	電気・重油料金の高騰による増
	設備等保守点検費	18,000	18,000	0	
	清掃・警備費等	21,215	21,000	215	第3駐車場地下臨時清掃による増
施設維持修繕費	5,921	7,283	△1,362	修繕箇所が減	
事務局費	6,241	8,739	△2,498	消耗品費の減	
その他	13,850	6,101	7,749	利用促進事業「スポーツフェスタ」 「ゆめフェスタ」の実施による増	
計(B)	116,316	108,657	7,659		
	収支①(A-B)	19,050	14,587	4,463	
自主事業(※2)	収入(C)	515	29	486	カルチャースクール定期講座実施による増
	支出(D)	1,251	671	580	
	収支②(C-D)	△736	△642	△94	
合計収支(①+②)		18,314	13,945	4,369	変動納付金 16,483 千円

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。  
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の設置目的に沿った業務実績</li> <li>○業務の実施による, 県民サービスの向上</li> <li>○業務の実施による, 施設の利用促進</li> <li>○施設の維持管理</li> </ul>	<p>利用団体会場責任者への直接のヒアリングやアンケート等でニーズの把握や利用者の意見を反映した施設づくりに努めた。</p> <p>以前より要望があった会議室及び研修室でインターネット回線が使えるようにし利便性の向上を図った。</p> <p>これまで利用目的としてほぼなかったスポーツ利用を伸ばすため、利用促進事業として「スポーツフェスタ」の開催や地域の方の来館のきっかけづくりのため「ゆめフェスタ」を開催するなど利用促進を行った。</p> <p>設備担当者や委託業者と綿密に連携を図り施設の不具合箇所には即対応することで利用者の方へ快適に施設を利用いただけるよう努めた。</p>	<p>利用者が快適に施設を利用できるよう、ニーズの把握や改善を行いながら、適切な管理運営を行うことができている。</p> <p>従来の利用目的にとらわれることなく、スポーツ利用を伸ばすための利用促進事業を実施するなど、施設の利用促進に向け着実に取り組むことができている。</p>
管理の人的物的基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織体制の見直し</li> <li>○効率的な業務運営</li> <li>○収支の適正</li> </ul>	<p>開館日は館長もしくは副館長が在籍し、責任者が対応できる勤務体制を確保した。また、施設運営の経験豊富な職員を配置し、様々な事案に迅速に対応できる体制を構築した。</p> <p>温度設定や照明の時間と場所の見直しを行うなど電気・重油使用量の削減を図った。また、修繕に関しても可能な限り自社施工を行うことで経費の削減を行った。</p> <p>毎月各部門の代表者が集まり利用状況や課題の共有を行うことで施設の効率的な運営に努めた。</p>	<p>省エネへの取り組みや修繕工事を自社施工で行うことによる経費の削減など、効率的な業務運営に努めている。</p>
総括		<p>前年度に引き続きコロナ禍の中での施設運営となったが「新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島県の対処方針」を遵守し、感染防止対策を徹底する事で大きな不具合なく管理運営することができた。</p> <p>新型コロナ蔓延防止のため、多くの催事が中止になったもののコロナウイルスワクチン接種会場になったこともあり収支は改善した。</p>	<p>新型コロナワクチン大規模接種会場として利用されたことやコロナ禍以前に行われていた催事の一部再開により、面積稼働率の目標数値を達成するなど、適切な施設の管理運営を行っている。</p>

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和5年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種団体・企業へ積極的な営業活動及び自主事業の取組による施設利用率の向上。</li> <li>○ 修繕については安全面や利用者の支障をきたすものを最優先に実施し適正に管理していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定管理者との連携により、安全を最優先事項として修繕業務を着実に実施していく。</li> </ul>
<p>中期的な対応</p>	<p>施設設置後 20 年以上経過し、設備の経年劣化が予想される。利用者の安全性を確保するとともに利用に支障をきたすことがないように、計画的な維持管理に努める。</p>	<p>施設の長寿命化に向けて、大規模修繕を計画的に実施していく。</p>